

会社概要・株式の状況 (2019年9月30日現在)

商号	フィンテック グローバル株式会社
設立	1994年12月7日
資本金	64億6,191万1,557円
連結従業員数	167名(臨時従業員は含まず)
連結子会社数	20社
発行済株式の総数	201,109,600株
単元株式数	100株
株主数	33,839名

役員 (2019年12月19日現在)

代表取締役社長	玉井 信光
取締役副社長	鷲本 晴吾
社外取締役	川崎 史顕 (常勤監査等委員)
社外取締役	太田 健一 (監査等委員)
社外取締役	大山 亨 (監査等委員)
社外取締役	木村 喬 (監査等委員)

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
定時株主総会	12月
基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ市場(証券コード：8789)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	http://www.fgi.co.jp/ir/download/
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日祝日を除く)

フィンテック グローバル株式会社

金融商品取引業(投資助言・代理業)
登録番号：関東財務局長(金商)第1469号

<http://www.fgi.co.jp/>

本社 〒141-0021 東京都品川区上大崎三丁目1番1号
目黒セントラルスクエア15F
Tel. 050-5864-3978
Fax. 03-6456-4601



FGI

FinTech Global Incorporated

The firm of innovative financing

フィンテック グローバル株式会社

証券コード：8789

第 25 期

事業報告書
2018.10.1～2019.9.30

メツァ開業1年間の運営実績を踏まえて体制を強化するとともに、
ブティック型投資銀行の原点へ回帰して経営戦略の再構築に取り組んでいます。

当社グループは、企業の成長、地域社会の発展を支援するブティック型投資銀行として、投資銀行業務と企業投資を両輪とする投資銀行事業を展開しています。

2019年9月期には、メツァビレッジが2018年11月、ムーミンバレーパークが2019年3月に開業して、エンタテインメント・サービス事業はこれらの運営による収入により売上高は大幅に増加しました。夏場の天候不順の影響により、売上高は当初想定には届きませんでした。ムーミンバレーパーク開業後の下半期はセグメント損益はプラスとなりました。投資銀行事業においては、不動産小口化商品の販売やM&A関連業務の受託収入、不動産・航空機アセットマネジメント収入、メツァ賃料収入等を中心とする収入を確保したものの、アセット投資の回収が遅れ、ファンドを介したライフサイエンス・IT企業への投資では545百万円の減損等が発生しました。以上の結果、当期の売上高は前期比148.7%増の9,175百万円となったものの、売上総利益は前期比30.2%増の2,944百万円に留まりました。販売費及び一般管理費はメツァの開業準備費用や投資銀行事業の人員増強による人件費等の増加により前期比38.3%増の4,609百万円となった結果、営業損失は1,664百万円(前期は1,072百万円の損失)となりました。このため、期末配当については、誠に遺憾ではございますが、見送りとさせていただくこととしました。

上記のような状況を踏まえ、当社は企業統治(コーポレート・ガバナンス)、経営戦略を見直して抜本的な改革を推進する方針としました。

企業統治に関しては、2019年12月19日開催の定時株主総会で監査等委員会設置会社への移行をご承認いただき、取締役会の過半数を社外取締役として経営を監視する体制を強化しました。経営戦略及び中期経営計画に関しては、投資銀行事業において投資回収の見込時期を再精査するとともに、ブティック型投資銀行の原点へ回帰して、顧客の個別ニーズに対応した商品設計等や新規分野への取り組みを通して地方が抱える課題を解決することを軸に、経営戦略の再構築を進め、2020年3月頃までにその対応を完了する予定です。エンタテインメント・サービス事業においては、既にメツァにおいて各種料金体系の見直しや季節に合わせた来園を促進するイベントの継続実施などに着手しています。なお、2020年3月にムーミンバレーパーク開業1周年を迎えるため、同時期には1年間の運営実績に基づく計画策定が可能となります。これらを踏まえ、2020年3月頃を目途に新たな中期経営計画を公表する予定です。

株主の皆様、そして社会の期待と信頼に応えられるよう、役職員一同、鋭意努力を重ねてまいります。何卒一層のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2019年12月
代表取締役社長

玉井 信光

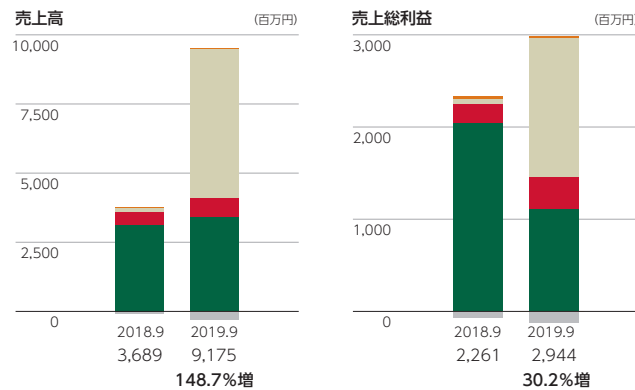


投資銀行業務と企業投資の両輪で企業の成長、地域社会の発展を支援することで
社会に必要とされるサステナブルな企業を目指します。

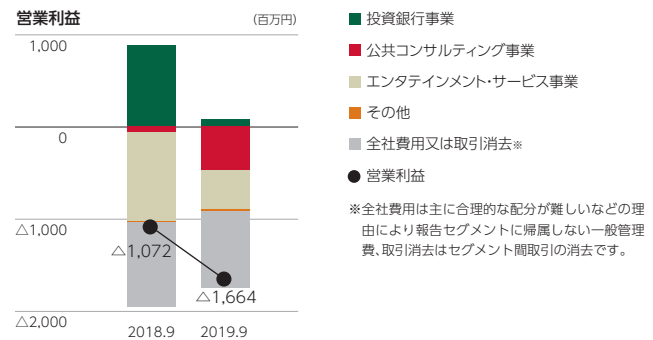


2019年9月期連結業績ハイライト

(単位:百万円)	2018年9月期	2019年9月期	前期比
売上高	3,689	9,175	+5,485
売上総利益	2,261	2,944	+683
営業利益	△1,072	△1,664	△592
経常利益	△1,227	△1,850	△623
親会社株主に帰属する当期純利益	△820	△1,586	△766
償却前営業利益	△974	△935	+39



- **メッツァ開業、ライセンス子会社の新規連結によりエンタテインメント・サービス事業売上高が大幅に増加。**
- **投資銀行事業で受託収入等を確保も、ファンド投資の減損やアセット投資回収の遅れ等でセグメント損失。**



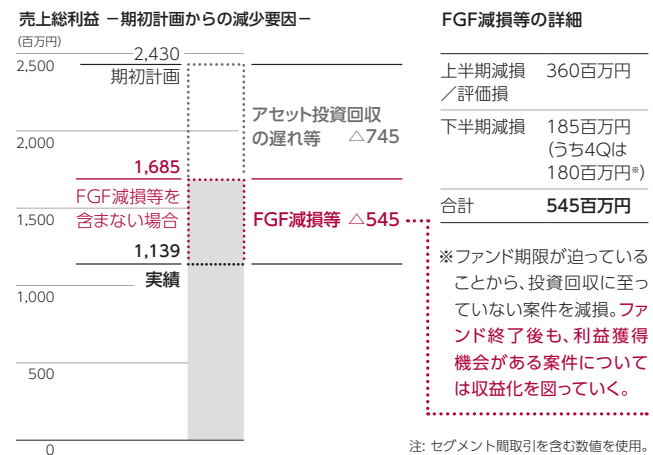
2019年9月期連結業績のポイント①

投資銀行事業

売上高	3,393百万円	前期比 +256百万円
売上総利益	1,139百万円	前期比△896百万円

注:セグメント間取引を含む数値を使用。

- **投資銀行事業では、不動産小口化商品の販売やM&A関連業務の受託、不動産・航空機アセットマネジメント、メッツァ賃料等による収入を確保。**
- **一方でベンチャーキャピタルファンド(FGF)の減損等およびアセット投資回収の遅れ等により、期初計画比で売上総利益が減少。**



2019年9月期連結業績のポイント②

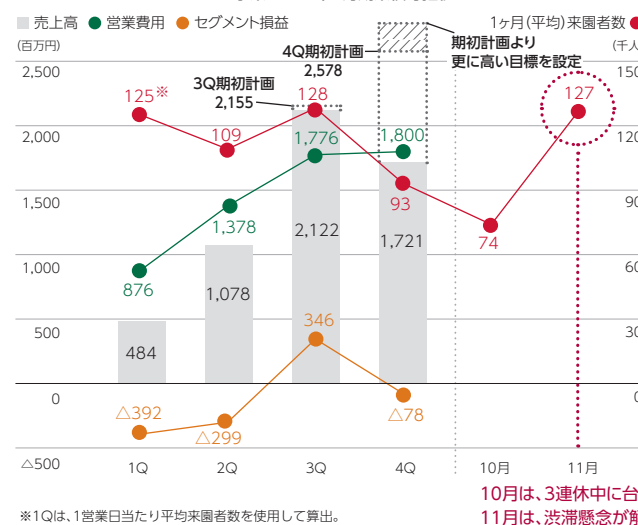
エンタテインメント・サービス事業

売上高	5,407百万円	前期比+5,278百万円
売上総利益	△423百万円	前期比 +543百万円

注:セグメント間取引を含む数値を使用。

- **メッツァビレッジが2018年11月9日に、ムーミンバレーパークが2019年3月16日に開業。**
- **メッツァ開業とライセンス子会社連結により、売上高は前期比52億円増加。しかし、夏場の天候不良でメッツァ集客が見込みを下回り、期初計画の65億円には届かず。**
- **開業費用や減価償却費負担により、セグメント損失を計上も、メッツァ開業後の下半期ではセグメント利益268百万円計上。**

エンタテインメント・サービス事業 2019年9月期業績等推移



(単位:百万円)	2018年9月期	2019年9月期	増減額
売上高	129	5,407	+5,278
メッツァ関連	64	3,998	+3,933
ライセンス収入・アニメ映像権収入	—	1,353	+1,353
その他	64	55	△9
売上原価	84	3,862	+3,778
売上総利益	45	1,545	+1,499
販売費及び一般管理費	1,012	1,968	+956
セグメント利益	△966	△423	+543
償却前セグメント利益	△965	216	+1,182

日本国内におけるムーミンキャラクターに関するサブライセンスを行う子会社を新規連結。2019年9月期はムーミンのアニメ放映権の販売を開始。

メッツァの入園料、有料施設利用料、物販、飲食、テナント賃料、駐車場利用料による売上高が大幅に増加。

- **開業前(1Q~2Q)**
メッツァ開業準備費用等により営業費用が売上高を上回り、損失計上。
 - **春の行楽シーズン(3Q)**
4-5月は、計画を上回り、黒字転換。
 - **夏休みシーズン(4Q)**
7-8月は4-5月と同様の来場者数を見込み、人員を配置。売上高の目標は、期初計画の2,578百万円より更に高く設定。しかしながら、天候不順により来場者数は見込みより大幅に少なくなり、売上高は減少。営業費用は第3四半期と同程度の高止まりしたままとなり、セグメント損益を大きく圧迫。
 - **3月開業後の下半期では、268百万円のセグメント利益**
開業初年度で減価償却費が増加した*にも関わらず、3Q・4Qをトータルで見るとセグメント損益はプラス。
- ※主要な設備は定額法ですが、一部資産は定率法で償却しているため、初年度は償却額が多くなる傾向があります。(エンタテインメント・サービス事業の減価償却費 前期1百万円→当期554百万円)

企業統治、経営戦略を見直し、抜本的な改革を推進

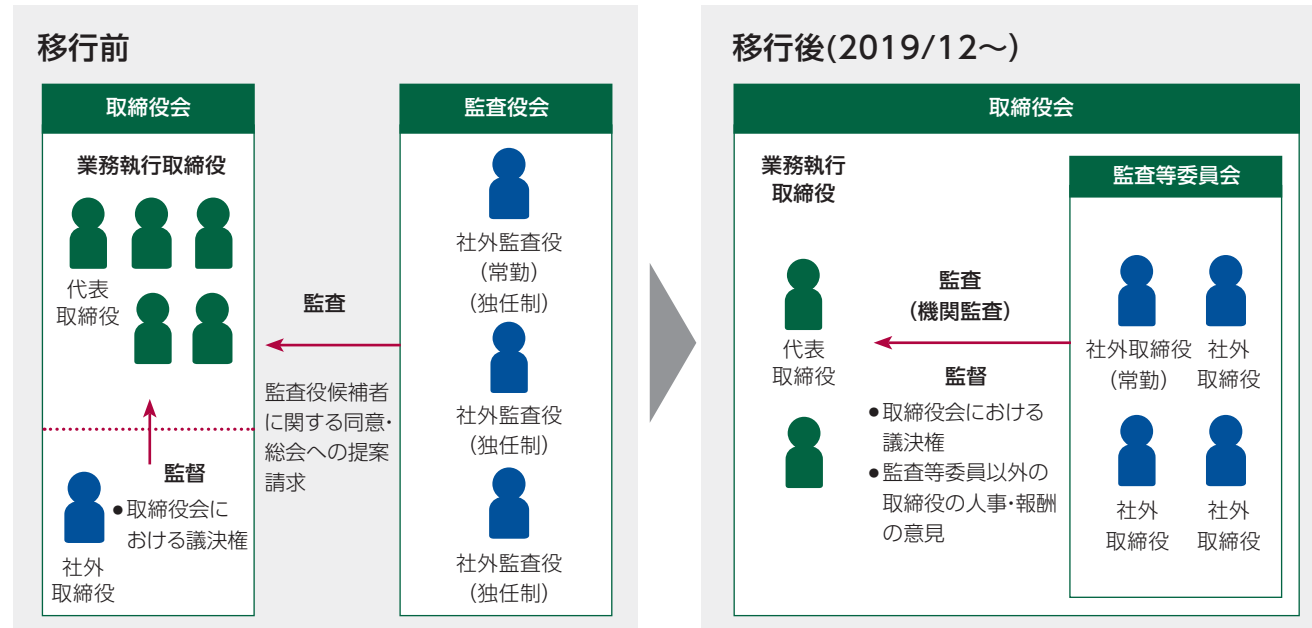
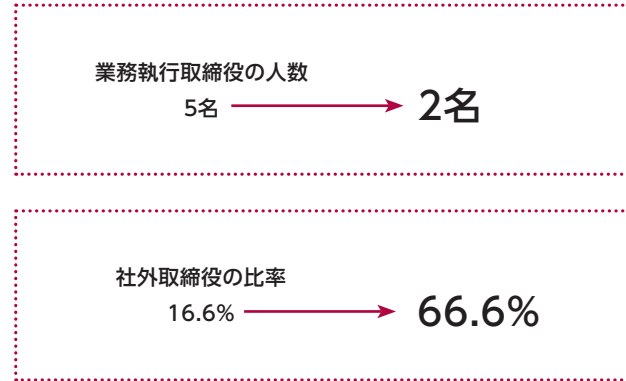
体制変更や経営戦略の見直しを踏まえ、中期経営計画を見直し 2020年3月頃を目途に策定、公表

コーポレート・ガバナンスの強化

—監査等委員会設置会社への移行—

2019年12月に、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行。

取締役会については、個別の業務執行を決定するオペレーション型から、業務執行取締役への監督を中心とするモニタリング型に移行するため、過半数を社外取締役としました。



投資銀行事業

● ブティック型投資銀行への原点回帰

顧客ニーズに合わせたオーダーメイドのソリューションを提供。

● 投資アセットの回収に向けた管理の強化

アセット投資・企業投資の管理・回収を強化するため、2019年10月に投資戦略本部、ポートフォリオ管理部を新設。投融資先の価値向上のためのモニタリング強化等により、投資回収に向けた動きを加速させています。

● 地方が抱える課題を解決することをミッションに取組強化

地方創生に資する証券化・企業投資・アセット投資・事業承継(M&A)の取組強化

● グループ会社の重複業務を整理、効率化。人件費も見直し

エンタテインメント・サービス事業

metsä メツァ

● 施設、運営関連

ムーミンの物語の魅力発見のため、物語の解説等を充実。レポート創出。 P7参照

渋滞懸念後退により、駐車料金平日無料キャンペーンを実施して利用促進。 P9参照

入園及びアトラクションチケットプランの券種改定。 P9参照

今後のコンテンツへの投資、施設開発計画を2020年9月期上半期に策定予定。

● マーケティング関連

幅広い来場者層に対応するため、ターゲットを再設定。インバウンドも積極取込。

子会社(株)ライト・アンド・ブランズが運営するムーミン公式サイトとの一体プロモーション、共同商品開発などの実行。

季節に合わせ、来園を促進するイベントの継続実施。 P8参照

metsä

メツァ:今後の施策について

2020年3月、メツァは全面開業から1周年を迎えます。1年間の運営実績に基づき、さらなる認知度・リピート率向上に向けた施策を展開してまいります。

※今後のコンテンツ拡充に向けた投資、施設開発計画については2020年9月期上半期に策定予定です。



MOOMIN VALLEY PARK
© Moomin Characters™



metsä village®

埼玉県飯能市に位置する宮沢湖を臨み、森と湖を調和させた「メツァ」はメツァビレッジとムーミンバレーパークの2つのゾーンで構成されます。

Keyword イベント開催の強化 季節ごとに来園を促進する魅力的なイベントを開催。



WINTER WONDERLAND
in MOOMINVALLEY PARK

オープンから初めての冬を迎える「ムーミンバレーパーク」を舞台に、ムーミンの物語「ムーミン谷の冬」のストーリーが始まります。

2019/11/30～2020/3/8(予定)

ムーミン谷の冬の夜空にオーロラが出現?!

「ムーミン谷エリア」をメインにナイトイルミネーションが楽しめます。ムーミン屋敷のプロジェクトンマッピングによるショーの最後には、「オーロラ」が出現します。

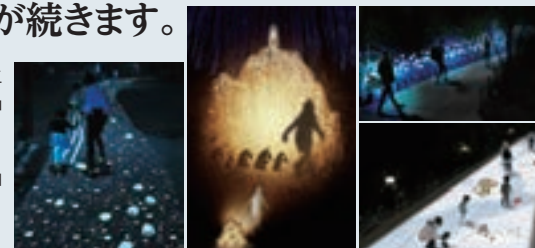


ムーミン屋敷の隣には冬のシンボル「ムーミン谷のウィンターツリー」。音を奏でる不思議なツリーです。

おさびし山エリアにも、光の幻想的な空間が続きます。

おさびし山エリアには、冬にだけ光ると言われている花が咲き、頂上の天文台の付近では、雪玉のランタンの灯りにムーミンの物語の中のワンシーンが映し出されます。

「あいまいなものの道」、「みんなの足あとの道」では、プロジェクトンマッピングによる演出で、歩くたびに楽しい想像が膨らみます。



夜だけではなく昼もお楽しみいただけます。

おさんぽラリー
「りすをさがして」

ムーミンバレーパークのいろんな場所に、落とし物をしたりすを追いかけて、落とし物を集めながらなぞを解いていきます。



サウンドウォーク
～ムーミン谷の冬～
2020/1月上旬～3/8(予定)

ソニーのオープンイヤーステレオヘッドセットを装着しパーク内を歩いて、「ムーミン谷の冬」の物語を体験。

Keyword 「ムーミン初心者」でも、楽しんでいただくための施策

ムーミンの物語を楽しんで知ってもらうための環境整備を進めています。

ストーリーの扉 2019/11/30～

ムーミンバレーパークの各所(全5箇所)に点在する「ストーリーの扉」。付近のアトラクションや施設などにまつわるムーミンの物語を映像などで紹介。

奥深いムーミンの物語を知ること、これまで以上にパークをお楽しみいただけます。



ストーリーガイド 2019/11/30～

ムーミンの物語を追体験できる「ストーリーガイド」が新登場。

ムーミントロールやその仲間たちのエピソードが掲載されており、物語はもちろん、ムーミンバレーパークについても深く知ることができるガイドです。

それぞれのアトラクション等で配布しています。



Keyword 顧客満足度の向上 メッツァビレッジ、ムーミンバレーパークをよりご利用いただきやすくするため、駐車料金やチケットプランを見直しています。

駐車料金 平日無料キャンペーンを開催

2019年11月から2020年3月までの期間限定キャンペーンとして平日の駐車料金を無料。
 土日祝は最大1,500円(税込)の特別料金となります。また、メッツァビレッジ内で、合計5,000円(税込)以上のお食事やお買い物などをご利用いただくと、駐車料金は無料。

「ムーミンバレーパーク」1日楽しめるお得な「1デーパス」発売

「ムーミンバレーパーク」では、入園とアトラクション体験がこれまで以上にお得にご利用できる「1デーパス」の発売をスタートしました。また、2019年11月30日(土)から開催する「WINTER WONDERLAND in MOOMINVALLEY PARK」(P8ご参照)にあわせ、夕方17:00よりご利用いただけるナイトチケットを、イベント期間限定にて発売します。

<ムーミンバレーパークチケット概要> (詳細はメッツァ公式サイトをご覧ください。)

- 入園チケット: おとな1,500円・こども1,000円
- 「1デーパス」: アトラクション込み(一部を除く)おとな2,800円・こども1,800円
- 「ナイトチケット」(販売期間: 2019年11月30日(土)~2020年3月8日(日)) おとな1,000円・こども500円
 (おとなは中学生以上、こどもは4歳以上小学生以下、3歳以下は無料、料金は税込)



© Moomin Characters™

連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位:千円)	当期末 (2019年9月30日現在)	前期末 (2018年9月30日現在)
科目		
(資産の部)		
流動資産	10,438,589	9,879,178
現金及び預金	2,533,187	4,267,738
受取手形及び売掛金	727,499	644,824
営業投資有価証券	1,359,941	1,017,184
営業貸付金	548,625	576,924
販売用不動産	4,211,988	304,516
仕掛販売用不動産	700	2,781,914
商品	208,577	15,298
その他	947,710	388,011
貸倒引当金	△99,641	△117,232
固定資産	8,586,424	4,137,093
有形固定資産	7,283,853	3,317,713
無形固定資産	724,929	343,188
投資その他の資産	577,641	476,191
資産合計	19,025,014	14,016,272
(負債の部)		
流動負債	3,010,093	4,802,029
支払手形及び買掛金	213,256	293,215
短期借入金	373,904	—
1年内返済予定の長期借入金	752,968	3,586,081
リース債務	215,881	698
未払法人税等	98,999	73,216
賞与引当金	157,244	114,928
その他	1,197,838	733,889
固定負債	7,141,750	663,091
長期借入金	6,086,260	532,787
リース債務	807,524	2,215
繰延税金負債	113,189	3,001
退職給付に係る負債	94,633	91,640
その他	40,143	33,446
負債合計	10,151,843	5,465,120
(純資産の部)		
株主資本	7,480,064	7,313,879
資本金	6,461,911	5,551,419
資本剰余金	5,015,924	4,149,561
利益剰余金	△3,997,770	△2,387,101
その他の包括利益累計額	△33,493	△2,588
新株予約権	65,837	54,605
非支配株主持分	1,360,762	1,185,254
純資産合計	8,873,170	8,551,151
負債・純資産合計	19,025,014	14,016,272

連結損益計算書 (単位:千円)	当期 (2018年10月1日から 2019年9月30日まで)	前期 (2017年10月1日から 2018年9月30日まで)
科目		
売上高	9,175,148	3,689,183
売上原価	6,230,430	1,427,968
売上総利益	2,944,717	2,261,215
販売費及び一般管理費	4,609,288	3,333,458
営業損失(△)	△1,664,571	△1,072,243
営業外収益	11,896	12,706
営業外費用	198,009	168,020
経常損失(△)	△1,850,684	△1,227,557
特別利益	203,367	301,367
特別損失	20,386	40,192
税金等調整前当期純損失(△)	△1,667,703	△966,383
法人税等	63,865	29,789
当期純損失(△)	△1,731,569	△996,173
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△144,897	△176,068
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,586,671	△820,104

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)	当期 (2018年10月1日から 2019年9月30日まで)	前期 (2017年10月1日から 2018年9月30日まで)
科目		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,604,667	△2,978,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,543,561	△2,008,303
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,710,304	5,771,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,538	△24,255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,441,462	760,861
現金及び現金同等物の期首残高	3,847,721	2,969,805
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	107,150	117,054
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△221	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,513,187	3,847,721